



◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会
◇連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.ne.jp ◇ホームページ <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>

◇頒価 200円 ◇毎月1回 第1月曜日発行 ◇会費 年間3000円
◇振替口座 (ゆうちょ銀行) 00140-7-635858 (星野・大坂全国救援会)



控訴審勝利へ全国から支援の仲間が駆けつけデモ・集会で高裁を包囲(10月2日 霞が関)

大坂正明さんの控訴審第1回公判が10月2日に行われ、東京高裁・鈴木巧裁判長は大坂さんの無実を全面的に明らかにする弁護団の事実取調べ請求をすべて却下し、即日結審しました。

無実の大坂さんを絶対にとり戻そうと、救援会は8月の総会以降、決戦体制を構えて連日の裁判所前街宣行動を闘いぬきました。日を追うごとに参加者が増え続け、東京高裁前は「大坂さんを解放しろ」「東京高裁は事実調べを行え」の労働者民衆の怒りに制圧されました。

この闘いに追い詰められた裁判所は、警察を導入して街宣活動妨害するという暴挙に出ましたが、私たちの怒りで完全粉碎。10月2日は全国から2500人もの救援会の仲間が集まり、東京高裁を完全に包囲しました。闘いはこれからです。11・1労働者集会と11・22反戦闘争を爆発させ、12月21日の判決公判で無罪判決をかちとろう。

即日結審弾劾！ 大坂絶対奪還へ 高裁揺るがす今秋大反戦闘争を

10月2日、大坂正明さんの控訴審第1回裁判が東京高裁で行われた。なんと、鈴木巧裁判長は、弁護団が請求した証人・証拠の全てを却下し、結審とする暴挙をなした▼大坂さんは無実だ。本件は日帝国家権力による政治的でっち上げだ。1審の裁判を通してそのことが明らかにや、東京地裁は、大坂さんをでっち上げるために、検察・警察が捏造したデモ参加学生の「供述調書」を根拠にして「懲役20年」の判決を下した。そして東京高裁は、それを覆すために弁護団が精根こめて提出した証拠を調べようとしてもしないのだ▼1971



星野・大坂全国救援会事務局
金山克巳

年に大坂さんが「米軍基地即時全面撤去！ 沖縄奪還、安保粉砕・日帝打倒」を最先頭で闘ったこと、でっち上げ弾圧と55年にもわたって不屈に対決していることへの、恐怖に満ちた報復だ▼今や裁判所が人権も正義も投げ捨て、高市政権と一体となって、反戦闘争や労働者の怒り・闘いを圧殺することにやつきとなつていくことを許すことはできない。大坂さんは、でっち上げをぶち破るために「反戦闘争の巨大な爆発をつくろう」と訴える。星野さんは「すべての人間が人間らしく生きられる社会」の実現を終生訴えた▼そうだ！ 救援会は、中国侵略戦争阻止の反戦闘争を、怒りを大爆発させて闘おう。

今月の紙面

大坂裁判控訴審第1回公判報告	2
報告集会での弁護団・共同代表発言	3
大坂さんと共に闘いぬいた第1回公判	4
東京高裁前での闘いの報告・感想	5
関西連絡会総会&大坂奪還デモ	6
大坂奪還三多摩集会&反戦デモ	7

第1回公判に全国から250人 無実の大坂さん奪還へ決意新たに

無実の大坂正明さんの控訴審第1回公判が10月2日、東京高裁第5刑事部（鈴木巧裁判長）で開かれました。全国から250人の仲間が集まり、一審懲役20年判決粉碎、大坂さん絶対奪還の強い決意のもと、裁判所を包囲する1日行動を熱烈に闘いました。

裁判は東京高裁の429号法廷で行われました。傍聴券はたったの23枚。筆記用具しか持ち込むことが許されない警備法廷で、たった23人の「身体検査」が開廷予定時刻に終わらないという厳戒ぶりでした。検察官は

開廷前撮影に現れずコソコソ入廷。裁判所も検察も労働者民衆の「大坂さん解放」の正義の闘いの前に戦々恐々としている様子が伝わってきました。

午後2時35分、大坂正明さんが入廷しました。待ちに待った

大坂さんとの対面に、傍聴席から拍手や声援が飛びました。鈴木巧裁判長は不機嫌そうに「騒いだら退廷にすることがある」と開廷前の注意を述べ、裁判が始まりました。

事実調べ請求をすべて却下

最初に弁護団が控訴趣意書の趣旨説明を行いました。およそ45分にわたり、大坂さんが明らかに無実であること、一審判決

を見直すことが絶対必要であることを訴えました。続けて、証人調べの必要性をさらに述べました。

この間、3人の裁判官は手元の裁判書類に誰ひとり目を通すことなく、弁護団の発言にまったく無関心な様子。鈴木巧裁判長はひたすら傍聴席をにらみつけ、民衆を敵視する姿勢をあらわにしていました。

まともに訴えを聞く気のない裁判長は弁護団の説明が終わると一言、「事実調べの必要性はない」と全ての請求を却下しました。弁護団が直ちに異議を申し立て、西村弁護士が粘り強く証人調べの必要性を訴えました。

とりわけ一審で検察官証人として請求されながら、重い病気を理由に取り下げられたデモ参加者O.Tの証人尋問を行わずして、何が裁判かと、裁判長に強く迫りました。

大坂奪還へ闘い強めよう

裁判長は検察官に意見を求めました。すると東京高検の工藤恭裕検事は「O.Tが存命なのは事実だが、尋問に耐えられるかどうか（弁護側が）証明していない」と木で鼻をくくったよう



全国から集まった250人の仲間がデモの後、東京高裁前で制圧して集会を闘う（10月2日 霞が関）

な答弁しかしません。これを受けて裁判長が異議を棄却し、結審しようとしたところで弁護団が裁判官忌避を申し立て、闘いました。「大坂さんは無実だ。だが裁判官は、事実にも何に関心を持っていない。証人調べを行おうという努力のかけらもない。まったくの無関心だ。果たして、裁判官の資格があるのか」西村弁護士の怒りの追及に呼応し、「裁判長は高市の犬か！」「なぜ事実調べを拒否するのか。無実が明らかになるからだ。なにが『公平な裁判所』だ！」「大坂さんを今すぐ解放しろ」と傍聴席から鈴木裁判長の訴訟指揮を弾劾する声が次々と発せられました。何人もが退廷になる中、裁判長が申し立てを却下し結審と次回判決（12月21日）を宣言しました。

大坂さんは一切の動揺を見せず、最後まで裁判官をじつと見据えていました。約1時間の裁判で、55分は弁護団の発言でした。高市政権のもとでの「反戦有罪」という結論ありきのデータラメ裁判を本当に許せません。不屈に闘いぬく大坂さんと固く団結し、ますます闘いを強め、絶対にとり戻そう！

報告集会

大衆的怒りで高裁の既定路線を粉砕しよう

主任弁護士 西村正治



3年間待たされた第1回公判が審理結審という形になり、怒りに堪えない。事前の三者協議において、1000ページの控訴趣意書を陳述する時間を要求したが、裁判の時間を1時間しかとっていないと裁判長が言った。要約して45分、読み上げたが、傍聴された方に分かりやすく話したつもりだ。

だが、裁判官は全く聞いていなかった。証拠も証人もすべて却下し、これに対する異議も裁判官忌避も認められず、結審とされた。12月21日に判決と言われたが、法廷外の怒りの力で、高裁の既定路線を絶対に粉砕していく闘いが必要だ。

有罪判決を許さない
法廷外の闘いが重要

弁護士 藤田城治



控訴審では8人の証人尋問を要求し、自身史上最長の

取調べ請求書を提出して闘った。控訴審の証人採用はハードルが高いといわれるが、一番は50年前の調書だけで判断した特殊な事案だ。しかも心理学者がこぞって一審判決を批判している。こんな調書で有罪にできるのかと突き付けている。高裁は向き合うべきだ。

証人尋問としては実施されないが、原判決を批判する中身は控訴趣意書で詳細にぶつけた。あとは絶対に有罪判決を許さないという、法廷外の皆様の声と一体で、無罪判決かちとるため

に最後まで闘う。

調書の偽造に向き合わない裁判官は許せない

弁護士 山本志都



103通の証拠を調べると要求して闘った。ほとんどの

55年前の警察官調書だ。もともと、調書には信用性がないという主張なので、「大坂さんが犯人」と書かれたでっち上げ調書を一番では出せなかった。一審判決で信用性があると認定された検察官調書が出来上がったという経過、すなわち捜査段階でこういう調書が取られ、どう変遷したのかを明らかにした。

一審判決の軸とされたAO氏の初期の引き当たり捜査報告書には、明らかに後から書き加えられた改変がある。星野、大坂、奥深山が一同となってデモの先頭を走り、警察官殴打行為に至ったという捜査方針を、AO氏が最初から供述していたかのように偽装したものだ。

こうした事実、何の関心も示さない裁判官は許せない。

司法は完全に崩壊した

救援会共同代表 浅野健一

この国の司法は完全に崩壊した。こんな裁判は暴挙だ。大坂さんが警察官殺害の実行行為に加わった証拠は全くない。

余命いくばくもないとの理由で一番で尋問が行われなかったデモ参加者OTの証人尋問を弁護団が何度も求めたが、裁判官は全く聞こうとしなかった。検察官は「OTが健在なのは事実だが、証人尋問に耐えられるかどうかは証明されていない」と開き直った。大坂さんは冷静に裁判官を見つめ、「こんな連中に何を期待するのか」「反戦闘争を爆発させてくれ」と訴えているように感じた。

私は人生初の退廷処分を受けた。今日の悔しさを胸に秘め、頑張っていくましよう。

救援運動超えた闘いを

救援会共同代表 狩野満男

私も退廷になった。鈴木巧裁判長は、悪代官そのものだ。

救援会はとことん高裁と対決し、闘い抜いてきた。裁判所が激甚に反応し、街宣活動を妨害

するという暴挙に出た。裁判所をそこまで追い付てきた。

大坂さんの存在の大きさを今一度私たちの闘いの中に位置づけなそう。自らの解放は反戦闘争の爆発の中しか実現しないと訴え、命を懸けて国家権力と闘う大坂さんとともに、救援運動を超えた闘いを作ろう。

やれることを全てやる

救援会共同代表 星野暁子

3年間待たせた揚げ句、裁判官はすべての段取りを決めて襲いかかってきた。今日は私たちの改めての出発点になる。私たちはどういう敵と闘っているのか。権力の側に立ち切り、裁判を正面から否定する裁判官との闘いだ。私たちの街宣に、警察を動員して妨害する裁判官だ。

今日の裁判、ただただ腹立たしい裁判だった。許せない。この怒りをどうぶつけ闘うか。懲役20年の一審判決を本当に覆すためにやれることは何でもやり切って、12月の公判に向かおう。



大坂さんとともに第1回公判を闘い抜いた

権力への怒りで闘いぬいた

神奈川 高橋道子

第1回公判に向かう連日の高裁前行動は重要な闘いとなり、当日の250名決起を作り出しました。発言、シユプレヒコール、包囲デモ、申し入れを通してぶつけたのは、帝国主義・国家権力への怒りです。その最先頭に大坂さんは生き闘い抜いています。「大坂さんを出さない」事をもって国家権力は日々私たちに屈服・転向を迫ろうとする。私たちは取り戻すために日々対峙する。実力闘争―完全黙秘・非転向―団結が拡大していきま

した。体調も良くない上に長雨。私



高裁前を完全制圧した連日の街宣は、雨の中でも署名が集まった（9月29日）

自身闘い抜けたのは、救援会の仲間たちの激励と職場の理解があったからです。公判当日は私も法廷に入る事が出来、大坂さんに直に会う事が出来ました。

即日結審絶対許せません。12月21日まで、奪還までデッドヒートは続きます。

大坂君と法廷で再会した

東海 坂野康男

傍聴することが出来ました。大坂正明君は入廷すると同時に傍聴席に目を向けたので、その時、一瞬でしたが大坂正明君との再会が実現しました。とても感動しました。

裁判は弁護団による事実調べの請求に対し、鈴木巧裁判長がことごとく却下して来ました。許せません。この暴挙に対して

法廷内で抗議の声が飛び交う中、鈴木巧裁判長は弁護団の異議申し立てを却下すると共に複数の抗議者に退廷を命令しました。

狩野共同代表が総括集会で鈴木巧裁判長を「悪代官然とした一番悪いタイプ」と表現した通り、私もこの悪代官の訴訟指揮に怒り心頭になりました。

私は11月反戦闘争に決起し、再び12月21日の判決日に大坂君と再会します。共に闘わん！

私が大坂さんになって闘う

東京 S・O

私は高裁前街宣のアピールで「10月2日から控訴審が始まります」という発言に違和感を懐いていました。「10月2日に控訴審が終わるかもしれない」のと。開廷即結審とは！大坂さん本人と、3年間素晴らしい準備をしてくれた弁護団、協力してくれた証人達の悔しさを思い出した。鈴木巧裁判長は即刻回避！結審したことの痛手をこうむらせよう！裁判できる裁判長にしろ！

法廷で裁判長に怒り爆発

関西連絡会 吾郷春代

鈴木巧裁判長は、人間の良心があるのか？!! 裁判長の「結審」の一言にみんなの怒りが爆発し「何で事実調べを行わないんだ！」でっち上げの供述調書が証拠なんて間違っている！」等々、裁判長を徹底弾劾しました。私も「大坂さんは無実だ！」

「事実調べを行え！」と叫び退廷になりました。

「沖縄奪還、安保粉砕・日帝打倒」を掲げて闘われた70年安保・沖縄決戦は正義の闘いです。大坂さん・星野さんに続いて、11・14渋谷暴動闘争を超える実力闘争を何としても実現しましょう。沖縄を再び戦場にするな！

中国・アジア人民と連帯し、日帝の中国侵略戦争を内乱に転化するために実力闘争で闘い、大坂さんを奪還しましょう。

鈴木巧裁判長を許さない

東京東部 小泉純子

東京高裁第5刑事部鈴木巧裁判長を弾劾する！弁護団が制限された時間内でも必死に大坂さんの無実を訴え、学識経験者4名他8人全員の証言を認めるように迫ったが、裁判長は「却下します」の一言で審理を結審すると言いつつ放った。

私は裁判官を最初から睨みつけていた。弁護人が訴えている間も彼は書類も開かず虚ろな目をして何も聞いていない。無実を百も承知でいながら、真実の追求など眼中にない。国家権力の僕として「却下」「結審」だけをいうために座っていた。私は

「こんなの裁判じゃない！ふざけるな！国家権力の犬か！」と叫び退廷となった。

大坂さんの長期投獄を絶対に許さない！日帝打倒の最前線で闘う大坂さんとともに闘う！

不屈の反戦闘争で勝利へ

徳島 元木美起子

徳島から東京高裁を目の前にして「渋谷暴動の時と同じだ。星野さんと大坂さんが一緒に闘っている！」と実感しました。

「23枚の傍聴券」「1千ページの控訴趣意書に対して時間制限」、即日結審。大坂さんがメッセージで述べられている「戦時司法」そのものでした。「弾圧を強めれば強めるほど、労働者階級民衆の闘いは、不屈に闘い続けることによつて、ついには勝利を勝ち取るものです」との大坂さんの控訴審当日のメッセージに込め、フランスの高校生のように、今秋反戦闘争を闘おう。

即日結審徹底弾劾！

千葉 飯島幸雄

10月2日の控訴審に向けて、控訴棄却策動を許さない高裁前街宣が闘われ、連日40人を超える救援会と支援の仲間が決起し



警察官の出動を要請し街宣活動の妨害を試みる裁判所（9月30日）

ました。雨模様の日が続きましたが、私も連日東京高裁前に駆け付け、鈴木巧裁判長の控訴棄却策動と、日帝高市政権による中国侵略戦争、反戦闘争つぶしの攻撃を徹底弾劾し、反戦闘争への決起を呼びかけました。

追い詰められた裁判所は警察官の出動を要請し、街宣行動の妨害を行ってきましたが、全員の不届の闘いで跳ね返し、弾圧策動を粉碎しました。

公判当日には全国から250人もの仲間が集結し、東京高裁を包囲する大闘争を実現しました。ところが裁判の傍聴席はたったの23席。私たちの闘いに追い詰められ、高裁は戦々恐々でした。鈴木巧裁判長は、弁護団の控訴趣意書や証人、証拠調べの要請を一切無視し結審を宣告



250人のデモ隊が霞が関を席卷（10月2日）

しました。初めから聞くつもりのない態度は本当に許せません。12月21日に向け裁判所への闘いと反戦闘争で裁判をひっくり返し、大坂さんを奪還しよう。

怒りが沸点に達した

裁判の傍聴は、後半にかけて沸点に達した怒りが体中を駆けめぐりました！ 事実調べの一切を却下するなどは、広島での8・6ヒロシマ暴処法弾圧裁判と重なります。両裁判は、体裁さえかなぐり捨てて「革命をやるうとするものは1ミリも許さない」という国家意思をむき出しにした、まさに戦時下の裁判です。一方で、制限された時間の中でも、これでもかと迫及す

る弁護団に、社会正義を追求する弁護士のありべき姿を見ました。そして街頭での闘いは、大坂さんと一体となった闘いであることを強く感じました。

改めて思います。国家権力がこのような醜態をさらさざるを得ないところまで追い込んでいくのは、闘いの力です。大坂さん、星野さんをはじめ、多くの先達が人生をかけ闘ってきた反戦の闘い。その意志を受け継ぎ、今こそ中国侵略戦争を阻止し、高市政権打倒の闘いを、さらに大きく広げていかなければならないと思います。

もう一度自己を立て直し闘う

大阪市 南谷哲夫

東京高裁・鈴木裁判長の10月結審、12月判決の裁判は、予想されたこととは言え、本当にはらわたが煮えくりかえる「暴挙」で、怒り一杯です。

この裁判遂行がわれわれに突き付けていることは、いったい何でしょう。この「裁判」は既に始まっている日帝・高市の中

国侵略戦争の展開そのものです。沖縄人民の巨大な米軍基地撤去闘争と、命がけで連帯し闘った渋谷暴動闘争、その先頭で闘った大坂正明さん・星野文昭さん。いまこそ革命的な女性解放闘争をもって自己をもう一度立て直し、血債の思想を取り戻し、大

大坂さん奪還へ高裁前集会での発言から

司法の犯罪を許すな

愛媛 日野亮

35回の公判の中身を無視した一審懲役20年判決は裁判の否定であり、司法の犯罪だ。反戦闘争の先頭に立つ大坂さんをつぶそうとする不当な裁判を許さず、高裁で事実調べをかちとろう。

渋谷暴動闘争の真価が問われている。これまでの在り方を転換し、11月1日と22日の二つの大闘争を実現し、その力で奪還しよう。

革命的な女性解放闘争で奪還へ

婦人民主クラブ全国協議会 川添望

沖縄闘争、反戦闘争を闘ったが故のでっち上げを絶対に許すわけにはいかない。今、帝国主義の危機が進み、高市はトランプと共に中国侵略戦争に突き進んでいる。かつて日本帝国主義は、女性を労働者として搾取し、からゆきさんなど文字通り身体ごと売り飛ばして外貨を獲得し

坂正明さんの血を吐く闘いに肉薄し闘います。11・1全国労働者集会、11・22全国反戦大集会を大爆発させます。

て軍備を進め、アジア侵略戦争をやった。「慰安婦」制度まで強制した。この頂点に天皇制がある。日本は今も帝国主義として生き延びている。差別・排外主義をおり、侵略戦争を進める帝国主義を天皇制もろとも打倒し戦争を阻止しよう。この力で大坂さんを取り戻そう。

今こそ渋谷暴動を超える闘いを

三多摩 徳永健生

東京高裁は即日結審を狙っているが、絶対に許さない！ 大坂さんが獄中から発しているように、戦時司法との闘いは巨大な反戦闘争・沖縄闘争の爆発で勝負するしかない。10月から11月にかけて全国で史上最大規模の日米共同軍事演習キーン・ソードが行われる。中国を標的にした侵略戦争訓練だ。今こそ渋谷暴動闘争を超える巨大な反戦闘争を実現しよう。11月22日、芝公園へ首都を揺るがす大隊列を登場させます。共に闘おう！

大坂正明さん奪還へ各地で全力投入

内乱決起の決意あふれる総会かちとる

奈良・星野さん・大坂さんを取り戻す会代表 松本裕行

無実の政治犯 星野文昭さん・大坂正明さんを取り戻す関西連絡会準備会は9月27日、大阪市内で総会を開催し72人が参加しました。

吾郷春代代表は基調で、「総会の目標は『戦争か革命か』の情勢下、米・日帝の中国侵略戦争阻止！ 11・22全国反戦闘争を

体を張った実力闘争として闘うこと、10・2大坂控訴審闘争を全力で闘い、中国侵略戦争阻止の反戦闘争の爆発のなかで無実の



大坂正明さんを奪還すること」と提起しました。そして「日帝・高市政権は天皇制を前面に押し出し、労働者を中国侵略戦争と

軍需生産に駆り立てる国家総動員体制の形成を目指している。日帝打倒！ 天皇制打倒を！」と訴えました。

次に「これまでの闘いが、運動内部から生み出した女性差別・性暴力を容認し、先頭で闘った当該の女性を襲撃するに至った、帝国主義打倒の思想と実践を放棄したものだ」と自己批判しました。そして「連帯し、侵略を内乱へ」の『7・7路線』『血債の思想』を復権させ、帝国主義を打倒する革命的な女性解放闘争を推進軸に、星野・大坂闘争を闘う組織全体が「反帝・反スタ世界革命」をやり抜く主体への変革を勝ち取る」と決意表明しました。「具体的には10・2大坂控訴審闘争を全力で闘い、中国侵略戦争阻止の反戦闘争の

爆発で、無実の大坂さんを奪還しよう」と訴えました。

続いて改憲・戦争阻止！大行進・関西、関西労組交流センター、関西女性反戦行動実行委、全国水平同盟の仲間が「連帯し、侵略を内乱へ！」を実現しよう」と烈々たる連帯の挨拶を述べました。また地域で闘う7人の仲間が、これまでの闘いを自己批判し、『内乱・内戦・蜂起』を闘うと決意表明しました。全体を通して、71年11・14渋谷暴動闘争を超える内乱に決起する決意が溢れる総会になりました。

なおこの総会をもって「無実の政治犯 星野文昭さん大坂正明さんを取り戻す関西連絡会」は、正式に発足しました。総会後、大阪の繁華街・梅田へ意気高くデモ行進しました。



東京西部ユニオンで大坂奪還決議

東京西部ユニオン 木梨義孝

9月27日、東京西部ユニオンは第25回定期大会を開催しました。大坂裁判の控訴審開始を間近に控え、中国侵略戦争阻止・帝国主義打倒の闘いに総決起し、大坂さん奪還を実現する決議を挙げました。

決議文の末尾を紹介して、全国の皆さんとともに闘う西部ユニオンの決意とします。

「本日の大会で西部ユニオンは新たな闘いを宣言しました。国会前に集まる青年・女性・学生

の怒りをともにし、革命的大衆の実力行動を組織しましょう。沖縄闘争をたたかい、命と人生を革命にかける大坂さんの存在

は労働者階級の魂を揺さぶります。2026・27年の中国侵略戦争阻止、帝国主義打倒の闘いへ、労働者人民の総決起を絶対に実現しましょう！

杉並における合同救援会結成から一年。私達は星野国賠訴訟の画期的勝利を勝ち取り、大坂闘争の連続的展開を継続してきました。西部ユニオンは東京西

部救援会の中軸としてその闘いを担ってきました。大坂さん星野さんと心ひとつに、西部ユニオン組合員は全力で闘おう！ 26年秋から冬へ、大坂さん奪還へ、中国侵略戦争阻止へ総決起しよう！

戦争を行う国家権力の暴力性と、政治犯を抹殺しようとする司法権力の暴力性は全く同じ。打倒あるのみだ。東京高裁鈴木巧裁判長打倒の闘いを更に継続して、大坂正明さんを絶対に奪還しましょう！



全国救援会は9月24日、東京高裁包囲デモと申し入れ行動を80人で闘った。東京西部ユニオンも申し入書を準備し、高裁にたたきつけた

台風に負けず大坂奪還と反戦訴えデモ

星野・大坂三多摩救援会 大島信子

無実の政治犯 星野・大坂三多摩救援会は9月21日、改憲・戦争阻止！大行進三多摩と共催で「米日の中国侵略戦争阻止、無実の大坂正明さん取り戻そう9・21集会&デモ」を闘いました。地域で3千枚のビラまきを取り組み、当日は台風の悪天候の中、5名の初参加者を含む40名の参加で大成功しました。

司会は、三多摩救援会が担当しました。「私は、星野闘争に参加する中で、階級闘争を学び、その中で大坂奪還と戦争反対は一体だとかんだ」と大坂奪還に向けた司会者の決意表明から開始されました。初めに、沖縄返



還協定批准阻止闘争を描いた映画『沖縄 炎の記録』と『進撃の論理』の上映を行いました。当時の沖縄民衆が武器を手に実力闘争に立ち上がった映像、米軍基地に火炎びんを投げ込む姿に、沖縄の怒りの深さを見て、渋谷暴動闘争に決起した星野文昭さんや大坂さんの心情を実感しました。この闘いを知れば、誰もが立ち上がらずにはいられないと感じた映像でした。

その後、大行進三多摩の内田晶理さんが基調提起を行いました。アメリカ帝国主義の中国侵略戦争情勢と高市政権の沖縄圧殺攻撃、沖縄に戦争と基地の矛盾を押し付けての日米安保・日米同盟を許さず、戦争を止めるために日本帝国主義打倒へ闘おう、渋谷闘争を闘った大坂さんに続こうと全面展開しました。続いて全国救援会の杉浦文俊さんが、裁判での証言を否定して検察官が取り調べでねつ造した「供述調書」をもとに懲役20年の判決を下した一審判決の悪辣さを暴きだし、大坂さんの

アピールを引用し、「戦時司法との闘いは反戦闘争の爆発で決着をつけるしかない」と訴えました。「無実を承知で懲役20年、高裁での事実調べを行え」の申し立てが語られました。

三多摩救援会からは、大島がこの間の取り組みを紹介しました。東京地裁立川支部前での街宣で19歳の大学生と出会い、大坂さんや反戦闘争の話ができたこと「効率が悪い」と指摘する支援者に「万の隊列もまずは一人から。討論が重要」と伝え、万の結集を訴える大坂さんに応えたい思いを報告しました。

三多摩労組交流センターの徳永さんが「平和国家日本を守ろう」といって労働者階級を日帝への屈服の道に引きずり込む日本共産党を打倒して闘おうと訴え、婦民三多摩支部は「女性解放と一体で反戦闘争を闘う」と決意表明、最後に全学連の若い仲間の挨拶に感動しました。デモは、台風接近の豪雨の中を立川駅に向けて進みました。大坂さん奪還に向けた参加者全員の決意が駅前の商店街にこたえ、嵐を吹き飛ばすデモに街行く若者たちから大きな注目を浴びるよいデモになりました。

絵画展

絶対反戦の絵画展パート8

茨城の会 日下部伸

8月25日から6日間、JR土浦駅前の市民ギャラリーで絶対反戦！「星野文昭・天国からの絵画展」パート8を開催しました。2018年4月以来この拠点会場での定点&定期（4、8、12月）の絵画展は24回目となりました。

今回は、故・石川文洋氏の追悼コーナーに加え、10名の友情



出展がありました。多くの会場スタッフに支えられ、145人の来場者がありました。会場では大坂解放署名を集め、絵画展で寄せられたカンパ3万円を星野国賠訴訟に寄付しました。星野さんの全作品を取りそろえたプレゼント用の缶バッジとミニレプリカは大好評で、多くの来場者がお持ち帰りになりました。夏休み中の親子連れの来場者も多く、缶バッジ試作体験コーナーは大人気でした。子供達が缶バッジ作りに夢中になっている間に親御さん達に星野さん大坂さんの闘いをアピールしました。昨年の土浦市での反戦集会&デモに参加した中国出身の女子中学生が来場し、中国への侵略戦争阻止、沖縄・琉球弧を再び戦場にするな！パレスティナ虐殺許すな！のパネルの前で熱心に説明を読んでいた。大坂さんが総会メッセージで述べていた、反戦・反核・反基地・護憲を掲げながらも、資本主義・帝国主義を前提としている「容帝」の人々を獲得する運動として、絶対反戦の階級的・星野絵画展を全国各地で展開しよう！

インフォメーション

■「第2の開港」粉碎！成田拡張＝軍事空港粉碎！市東さんの南台農地を守ろう！改憲・大軍拡の高市政権打倒！10・11三里塚全国集会

10月11日（日）正午

成田市・赤坂公園芝生広場（JR成田駅から2km）

午後2時30分 成田市街デモ

主催 三里塚芝山連合空港反対同盟

■米帝トランプ・日帝高市による中国侵略戦争阻止

10・12労働者反戦集会

10月12日（月・休）午後2時

台東区民会館9階特別会議室

（東武線浅草駅・東京メトロ銀座線浅草駅徒歩5分）

★集会後、午後4時から浅草デモ

主催 全国労働組合交流センター

東京労働組合交流センター

■中国侵略戦争の中枢＝朝霞駐屯地解体！10・17朝霞反戦闘争

10月17日（土）午後1時 東武東上線朝霞駅南口

午後2時 陸上自衛隊朝霞駐屯地へデモ

朝霞門前で抗議・申入れ闘争

主催 改憲・戦争阻止！大行進埼玉

■大坂正明さん解放！東京高裁包囲デモ

10月22日（木）正午 日比谷公園霞門集合

■10・24吉祥寺 女性反戦デモ

10月24日（土）午後2時 リレーアピール

吉祥寺駅北口駅前広場／午後3時30分、デモ出発

呼びかけ 3・8国際婦人デー集会実行委員会

■いまこそ闘う労働組合を甦らせよう！労働者の国境を越えた団結で戦争を止めよう 全国労働者総決起集会

11月1日（日）正午

浅草公会堂ホール（都営浅草線浅草駅徒歩7分）

★集会後デモ

呼びかけ 動労千葉／国鉄闘争全国運動／改憲・戦争阻止！大行進

■中国侵略戦争阻止！改憲粉碎、高市打倒！全国集会 首相官邸デモ

11月22日（日）午後1時

芝公園23号地（都営三田線御成門駅徒歩7分）

午後2時45分 デモ出発

主催 改憲・戦争阻止！大行進

■大坂裁判控訴審 第2回公判

12月21日（月）午後2時30分 東京高裁429号法廷



「生命生まれる一瞬の歩みに重ねて」

絵 星野文昭 2014年制作

描きたい絵と描ける絵が一致するようになって、絵を描くのが楽しくなった。そんなことを言っていた頃の作品だと思う。すべてを母親に委ねている赤ん坊の表情も、それをしっかり受け止めている母親の表情も、よく描かれていると思う。

星野暁子

大坂正明さん絶対奪還へ 裁判費用300万円 カンパを訴えます

大坂正明さんの控訴審第1回裁判が10月2日に開かれ、鈴木巧裁判長は弁護団が準備した控訴趣意書に基づく事実調べの請求を一切認めず、即日結審しました。東京地裁の懲役20年判決のでたらめ性が暴かれることを恐れたもので、裁判の否定です。高市政権が安保3文書改定をもって中国侵略戦争に突き進もうとしていることを翼賛し、戦争反対の闘いをつぶすための、裁判所の「威」を借りた治安弾圧そのものです。

戦時司法とどこまでも闘い、12月21日の判決公判に向け反戦闘争の爆発で裁判所を追い詰めよう。

大坂裁判には多額の費用が掛かっています。引き続き裁判費用としての300万円カンパにご協力をお願いします。

郵便振替口座：00140-7-635858

口座名：星野・大坂全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp

無実の大坂正明さん奪還へ 東京高裁包囲・弾劾デモ 10月22日（木）正午 日比谷公園霞門 午後1時 高裁前抗議街宣

街宣などの最新情報はホームページをご覧ください

星野・大坂カレンダー2027

予約受付中 11月1日、頒布開始

頒価1200円（5冊以上1000円／送料別）

大坂正明さん解放署名

10月2日現在 **11184筆**

反動高裁を打倒し大坂奪還へ！判決まで更に集めよう